

新宗教新聞

信教の自由を守ろう
信仰心を広めよう
宗教協力を進めよう
世界の平和に貢献しよう

新宗連スローガン

全国総会を開催

新宗連

理事会

拉致問題に取り組み
意見書提出と学習推進へ

18日午後1時半から、立ガンが披露され、全員で唱和した。新スローガンは...



立正佼成会盛岡教会で開かれた第29期第2回理事会の様子

新宗連は9月30日午後1時半から、東京・代々木の妙智會教団本部で、同教団の松枝飛支・九州教会長を講師に、第1回教化活動に関する懇談会を開催した。

第1回教化活動に関する懇談会

妙智會九州教会長が布教語る

新宗連

総会 総習 員学

拉致問題 解決へ世論づくりを
家族会と調査会の代表が講演

19日午前9時から、盛岡市内のホテルで会員総会・調査会(調査会)代表の荒木和博氏が講演した。



質問に答える荒木氏(左)と飯塚氏(右)

荒木氏は「拉致被害者の即時的帰国を求める署名」を開始し、7月29日、北朝鮮による日本人拉致被害者の即時的帰国を求める署名を始めることになった。

新宗連は「拉致被害者の即時的帰国を求める署名」を開始し、7月29日、北朝鮮による日本人拉致被害者の即時的帰国を求める署名を始めることになった。



松枝氏の布教体験を聞き、真実を聞き取った。

全国総支部会議 理事会決定事項 18日午後4時半から、P1盛岡教会で第29期第1回全国総支部会議を開催した。

父・田澤豊弘の在りし日の、私の知らない日、私は教主に就任13年が過ぎた。...

現代世界と宗教の課題 宗教間対話と公共哲学 星川啓慈 山脇聖司 山形有希子 齋藤次 濱田由徳 著

父・田澤豊弘の在りし日の、私の知らない日、私は教主に就任13年が過ぎた。...

所得税0への道 著・太田哲一 定価・本体1,000円税別 A5判 176ページ 発行「パラダイム」

第30回世界宗教者平和のための祈りの集い 1986(昭和61)年10月、ヨハネ・パウロ二世教皇が主宰した「アッシジ平和の祈り」の精神を引き継ぐもの。...

老春謳歌 長生きの秘訣 御木徳近著 定価・本体1,000円税別 A5判 176ページ 発行「パラダイム」

第30回世界宗教者平和のための祈りの集い 1986(昭和61)年10月、ヨハネ・パウロ二世教皇が主宰した「アッシジ平和の祈り」の精神を引き継ぐもの。...

宗教も少し相談室 3466-9900 受付●月曜～金曜/正午～午後4時

Bottom row of advertisements including 新宗教新聞, 解脱会, 清文社, 芸術生活社, 神宮祭祀の研究, パラダイム, ひろさちやの『法華経』シリーズ, 白馬社, and 現代世界と宗教の課題.

九州一縁」テーマに鹿児島で

青九連 ユースフォーラム2016

新日本宗教学青年会九州連盟(青九連)は、岸和田副委員長は9月24、25日の2日間、鹿児島県霧島市の鹿児島自然ふれあいセンターで「九州一縁」をテーマにした、「青九連ユースフォーラム2016」を開催した。

24日午後1時半から開会式。青九連鹿児島県委員会、加治屋美委員長が開会あいさつ。続いて新日本宗教学青年会(新青連)鹿児島県協議会の西利晃議長があいさつ。「他宗教の人が、共に学び、互いに歩み寄り、共に歩む」というテーマで、班ごとに交流を深めた後、塗り書きを体験。著

を削る、さまざまな色が出てくるので、参加者は自分好みにデザインした。全員で熊本地震並びに日本大震災の犠牲者の冥福と被災地の早期復興を祈り黙祷を捧げた後、青九連熊本県委員会の吉村卓士委員長が「熊本地震を振り返って、熊本地震発生からの5



青九連ユースフォーラム2016の様子が写っている。参加者は班ごとに交流を深めた。

価値感の違い認めて 地方連盟キヤラバンも実施

新日本宗教学青年会中部連盟(青中連)は、10月15、16日、愛知県の立正佼成会名古屋教会で「ユースフォーラム2016」を開催した。併せて、新宗連青年会が主催する「地方連盟キヤラバン」を実施した。

15日午後6時に開会。今年7月2、3日に青中連受け入れで開催した新宗連青年会の「ユースフォーラム2016」の反省会も兼ねた懇話会を行った。

2016の反省会も兼ねた懇話会を行った。16日午前8時から、レクリエーション。今回の参加教会である、PL、福聚の教会が紹介された。立正佼成会が紹介した。立正佼成会の橋本浩志局長、宮本泰克局長がコーディネーターを務め、「地方連盟キヤラバン」を行った。キヤラバン

参加者は各班に分かれ、語り合った。理由があれば、戦争をしてもよいかどうかをテーマに意見を述べた。感想発表では、「自分が当たり前に思っていた考え、意見をもう一度見直すことが出来た。『実社会の中で、価値感の違いを認める』を実践していきたい」と多くの人が触れ合ってきた。この後、高木寿愛知県委員長が挨拶を述べた。

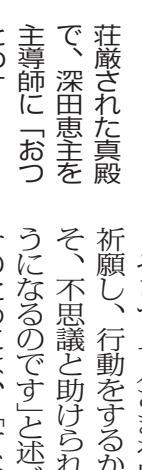
秋の大祭

各地で開催

分本位の祈願ではなく、他人の救われ祈ることを大切に。そして、人さまを思い、祈願し、行動を助けるから、その不思議と助けられるようになるのですと述べた。

他人の救われ祈る すべてに感謝して修行を

円心教



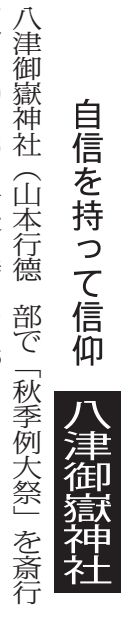
秋の大祭の模様。参加者は真剣な表情で参加している。

また、難波一親大田教長、伊与喜精喜須崎教長、青九連静岡教長、全員で黙祷した。教団を代表して寺岡圓治郎責任役員があいさつに立ち、深田千代子教祖の修行についてのエピソードを語り、涙ながらに感謝して修行をすべしと述べた。

また、難波一親大田教長、伊与喜精喜須崎教長、青九連静岡教長、全員で黙祷した。教団を代表して寺岡圓治郎責任役員があいさつに立ち、深田千代子教祖の修行についてのエピソードを語り、涙ながらに感謝して修行をすべしと述べた。

神の光が届く信を 自信を持って信仰

八津御獄神社



八津御獄神社で行われた秋の大祭の様子。

八津御獄神社(山本行徳部)で「秋祭例大祭」を厳行宮司は、10月16日午後2時から、東京・中野の東京部、八津御獄神社(山本行徳部)と祭員が先入座。祭儀に先立ち、9月30日に新宗連主催により、東京・代々木公園の妙智教団本部で開催された「教化活動に関する懇話会」について報告があった。

この後、岡野聖恵会祖(解脫金剛)の「み声」(録音)を拝聴。静寂の中に、「み声」に流れる岡野会祖の尊い使命を感じ、敬意を込めて聞き入った。続いて「おみたま籠」が厳かに入場し、「萬霊魂祭」前に安置された。教えの神髄である「五

切であることを説いた。また、八津御獄神社に天御中主神を祀っていることを聞き、遠方から参拝に来る人がいることを紹介し、「高天原に最初に現れた神様(天の御中主神)を祀る私たちが、自信を持って信仰を、と述べ、神の光が降り注ぐように信を深めていくことの大切さを伝え、心をなごませた。

世を照らす光に 平和に貢献する尊い使命

解脫会



解脫会での演説の様子。

東京・四谷の解脫会(岡野聖法主)は、10月9、10日の両日、埼玉北本市の御霊地で「第169回秋季大祭」を厳行した。10日の本祭式は午前10時に開式。午前10時40分から、鼓笛隊パレードに続き、式辞を述べた。岡野聖法主は、大祭の意義を説いた上で、教えを基によりよき家庭、安心して暮らせる地域社会、幸福度の高い国づくり、世界平和に貢献することを、「解脫会に課せられた使命」であるとした。

この後、岡野聖恵会祖(解脫金剛)の「み声」(録音)を拝聴。静寂の中に、「み声」に流れる岡野会祖の尊い使命を感じ、敬意を込めて聞き入った。続いて「おみたま籠」が厳かに入場し、「萬霊魂祭」前に安置された。教えの神髄である「五

切であることを説いた。また、八津御獄神社に天御中主神を祀っていることを聞き、遠方から参拝に来る人がいることを紹介し、「高天原に最初に現れた神様(天の御中主神)を祀る私たちが、自信を持って信仰を、と述べ、神の光が降り注ぐように信を深めていくことの大切さを伝え、心をなごませた。

法統継承一周年 真徒の支えに感謝

協栄界教団

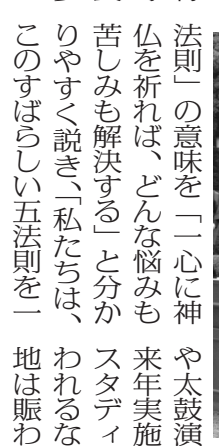


協栄界教団で行われた法統継承一周年記念式典の様子。

協栄界教団(林文光法主)は、10月8日午前9時半から、大阪府交野市の本部茶室山光明園で「秋季大祭・立教記念大祭並びに法統継承一周年式典」を厳行した。式典では、林文光法主が「1年経ちました。法統継承一周年を迎え、真徒の支えに感謝を申し上げます」と述べた。続いて、林文光法主が「法統継承一周年を迎え、真徒の支えに感謝を申し上げます」と述べた。

協栄界教団(林文光法主)は、10月8日午前9時半から、大阪府交野市の本部茶室山光明園で「秋季大祭・立教記念大祭並びに法統継承一周年式典」を厳行した。式典では、林文光法主が「1年経ちました。法統継承一周年を迎え、真徒の支えに感謝を申し上げます」と述べた。続いて、林文光法主が「法統継承一周年を迎え、真徒の支えに感謝を申し上げます」と述べた。

協栄界教団(林文光法主)は、10月8日午前9時半から、大阪府交野市の本部茶室山光明園で「秋季大祭・立教記念大祭並びに法統継承一周年式典」を厳行した。式典では、林文光法主が「1年経ちました。法統継承一周年を迎え、真徒の支えに感謝を申し上げます」と述べた。続いて、林文光法主が「法統継承一周年を迎え、真徒の支えに感謝を申し上げます」と述べた。



立教50周年記念式典の様子。

立教50周年を迎えた意義を強調。救世真教

立教50周年を迎えた意義を強調。救世真教



立教50周年記念式典の様子。

立教50周年を迎えた意義を強調。救世真教

立教50周年を迎えた意義を強調。救世真教



立教50周年記念式典の様子。

立教50周年を迎えた意義を強調。救世真教

立教50周年を迎えた意義を強調。救世真教

平和学習会、7協議会で開催

総支部・協議会で開催し、高崎、新井光興北関東総支部、角本尚雄議長は9月28、29の両日、石川県金沢市の真宗大谷派別院で第70回「同宗連」研修会を開催した。

高崎、新井光興北関東総支部、角本尚雄議長は9月28、29の両日、石川県金沢市の真宗大谷派別院で第70回「同宗連」研修会を開催した。



平和学習会の様子。

この後、高木寿愛知県委員長が挨拶を述べた。

この後、高木寿愛知県委員長が挨拶を述べた。

朝鮮人差別などを学ぶ

独立運動家の尹奉吉は1932(昭和7)年、白川義則上海派遣軍最高司令官ら2人が死亡した「上海爆弾事件」の真犯人として、金沢で処刑された。野田山の陸軍墓地の崖下の通路下に「暗葬(密かに非常識な葬り方)され、46(同21)年3月に遺体が発掘された。92(平成4)年には野田山に「尹奉吉墓(暗葬の跡)」が竣工された。



立教50周年記念式典の様子。

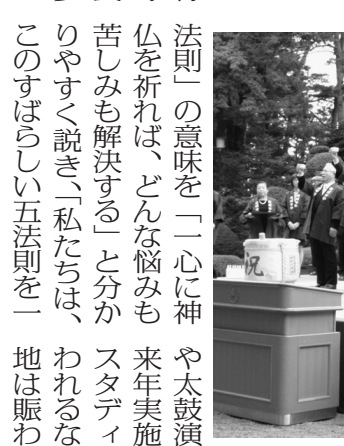
立教50周年を迎えた意義を強調。救世真教



立教50周年記念式典の様子。

立教50周年を迎えた意義を強調。救世真教

立教50周年を迎えた意義を強調。救世真教



立教50周年記念式典の様子。

立教50周年を迎えた意義を強調。救世真教

立教50周年を迎えた意義を強調。救世真教



立教50周年記念式典の様子。

立教50周年を迎えた意義を強調。救世真教

立教50周年を迎えた意義を強調。救世真教

平和への実践誓い合う

世界宗教者平和のための祈りの集い

「第30回世界宗教者平和のための祈りの集い」（主催：聖エジディオ共同会）は、9月18日午後、イタリア・アシジ市内の「リリック劇場」で開会式が行われ、セルジョ・マッテレッタ・イタリア大統領が出席し、歓迎あいさつに続き、聖エジディオ共同会創始者、アンドレア・リカルテ氏が登壇。30年前、アシジに集った宗教者が諸宗教の絆を再構築していくことを確信し、その後各地で平和への実践を重ねてきた事例を紹介した。



開会式(18日)で、立正佼成会副会長は宗教者の創造性や人材育成の重要性を述べた

また、庭野日蓮立正佼成会会長は貧困や紛争、頻発するテロなどに対して宗教者が自らを内省しつつ、創造的な工夫を凝らすことが重要だと訴えた。政治・経済・国際機関・民間団体・メディアなどの連携を深め、より開かれた、より行動的な活動を目指すことは不可欠と訴えた。

「あらゆる問題に継続的に取り組み、本質的な解決に導いていく上で、人材育成は要となる」と述べた。

仏教の根本は命 大阪府佛教徒大会

大阪府佛教徒会(井桁雄弘会長)は10月14日午後3時から、大阪市市内のホテルで「第51回大阪府佛教徒大会」を、大阪府佛教青年会が主催で開催した。

「赤ちゃんポスト」の課題 宗教倫理学会・公開講演

宗教倫理学会(小田淑子会長)は10月9日、関西大学(千里山キャンパス)で「第17回宗教学大会」の公開講演を行った。

聖徳太子と日本のこころ

第13回奈良県宗教者フォーラム(白谷正寛実行委員長)は9月25日午後零時、奈良県橿原市の法隆寺の聖徳会館で開催され、宗教者をはじめ、市民を含む340人が参加した。

首都圏大震災に備えて

日本弁護士連合会(日弁連、中本和洋会長)は10月3日午後1時から、東京・有明コロシアムで、4月の熊本地震に際しても日弁連は無事ながら、なせ十七憲法案を制定するに至ったのかを振り返ると述べた。

「宗教の自由とは何か」
Q9 国民一人ひとりが伝統の素晴らしさを理解するためには、ある程度の「押し付け」も必要ではないですか？
A9 「押し付け」では、その「伝統」を維持する「こと」はあきらめず、

個人の「宗教の自由」尊重こそ

「宗教の自由」とは、個人が個人として、個人としての「宗教の自由」を確保されている状態を指す。個人が個人として、個人としての「宗教の自由」を確保されている状態を指す。個人が個人として、個人としての「宗教の自由」を確保されている状態を指す。

自由な宗教活動のために

個人間の「宗教の自由」を確保されている状態を指す。個人が個人として、個人としての「宗教の自由」を確保されている状態を指す。個人が個人として、個人としての「宗教の自由」を確保されている状態を指す。

「赤ちゃんポスト」の課題

「赤ちゃんポスト」は、共に母子の命を守る取り組みであるが、その中でも、後者は解放的であり、前者は保護的である。この二つの違いを、宗教倫理学会の公開講演で議論された。

新刊紹介

『神社と政治』(小林正弥著)は、政治哲学や公共哲学を専門とする小林氏が、神道と政治の関係について、その歴史と現状を詳しく論じている。

修信と信仰

『修信と信仰』(藤田 庄市著)は、修行によって到達する境地、そしてその過程における「修信」と「信仰」の違いを論じている。

修信と信仰

本書は「国家神道」の復活でもなく、政治からの神道の排除でもなく、神社神道の持つ特性を活かしながら、いかに現代の政治、公共や世界に神社神道が開かれつつあるのかを問うものである。

比叡山宗教サミット30周年
世界宗教者平和の祈りの集い
日本宗教代表者会議が発会

比叡山宗教サミット30周年

来月8月3、4日に開催される「比叡山宗教サミット30周年記念『世界宗教者平和の祈りの集い』」の運びを代表してあいさつし、菅野孝太郎日本宗教代表者会議の設立と発会式が10月5日午後2時から、京都府左京区の国立京都国際会館で開催された。

大阪府佛教徒大会

大阪府佛教徒会(井桁雄弘会長)は10月14日午後3時から、大阪市市内のホテルで「第51回大阪府佛教徒大会」を、大阪府佛教青年会が主催で開催した。

「赤ちゃんポスト」の課題

宗教倫理学会(小田淑子会長)は10月9日、関西大学(千里山キャンパス)で「第17回宗教学大会」の公開講演を行った。

新刊紹介

『神社と政治』(小林正弥著)は、政治哲学や公共哲学を専門とする小林氏が、神道と政治の関係について、その歴史と現状を詳しく論じている。

修信と信仰

『修信と信仰』(藤田 庄市著)は、修行によって到達する境地、そしてその過程における「修信」と「信仰」の違いを論じている。

修信と信仰

本書は「国家神道」の復活でもなく、政治からの神道の排除でもなく、神社神道の持つ特性を活かしながら、いかに現代の政治、公共や世界に神社神道が開かれつつあるのかを問うものである。

「宗教の自由とは何か」
Q10 「あぶなな宗教」は国民のためにも取り締まるべきではありませんか？
A10 法律に抵触しない限り、公的福祉に及ぼさない限り、取り締まるべきではありません。しかし、「宗教の自由」があるからといって、何を行ってもいいというわけにはありません。

個人の「宗教の自由」尊重こそ

「宗教の自由」とは、個人が個人として、個人としての「宗教の自由」を確保されている状態を指す。個人が個人として、個人としての「宗教の自由」を確保されている状態を指す。個人が個人として、個人としての「宗教の自由」を確保されている状態を指す。

自由な宗教活動のために

個人間の「宗教の自由」を確保されている状態を指す。個人が個人として、個人としての「宗教の自由」を確保されている状態を指す。個人が個人として、個人としての「宗教の自由」を確保されている状態を指す。

「赤ちゃんポスト」の課題

「赤ちゃんポスト」は、共に母子の命を守る取り組みであるが、その中でも、後者は解放的であり、前者は保護的である。この二つの違いを、宗教倫理学会の公開講演で議論された。

新刊紹介

『神社と政治』(小林正弥著)は、政治哲学や公共哲学を専門とする小林氏が、神道と政治の関係について、その歴史と現状を詳しく論じている。

修信と信仰

『修信と信仰』(藤田 庄市著)は、修行によって到達する境地、そしてその過程における「修信」と「信仰」の違いを論じている。

修信と信仰

本書は「国家神道」の復活でもなく、政治からの神道の排除でもなく、神社神道の持つ特性を活かしながら、いかに現代の政治、公共や世界に神社神道が開かれつつあるのかを問うものである。

教を信じるすべての人が「平和実践の職人」になるようにと訴えた。白亜の聖フランシスコ聖堂が夕陽に紅く照らし出される中、庭野光祥立正佼成会副会長が登壇。イタリア語で平和宣言を発表した。フランススコ教皇をはじめ各宗教代表が、同宣言文に署名。広場を埋め尽くした約3千人の参加者は、互いに握手を交わし、平和への実践を誓い合った。

大阪府佛教徒大会

大阪府佛教徒会(井桁雄弘会長)は10月14日午後3時から、大阪市市内のホテルで「第51回大阪府佛教徒大会」を、大阪府佛教青年会が主催で開催した。

「赤ちゃんポスト」の課題

宗教倫理学会(小田淑子会長)は10月9日、関西大学(千里山キャンパス)で「第17回宗教学大会」の公開講演を行った。

新刊紹介

『神社と政治』(小林正弥著)は、政治哲学や公共哲学を専門とする小林氏が、神道と政治の関係について、その歴史と現状を詳しく論じている。

修信と信仰

『修信と信仰』(藤田 庄市著)は、修行によって到達する境地、そしてその過程における「修信」と「信仰」の違いを論じている。

修信と信仰

本書は「国家神道」の復活でもなく、政治からの神道の排除でもなく、神社神道の持つ特性を活かしながら、いかに現代の政治、公共や世界に神社神道が開かれつつあるのかを問うものである。

修信と信仰

本書は「国家神道」の復活でもなく、政治からの神道の排除でもなく、神社神道の持つ特性を活かしながら、いかに現代の政治、公共や世界に神社神道が開かれつつあるのかを問うものである。